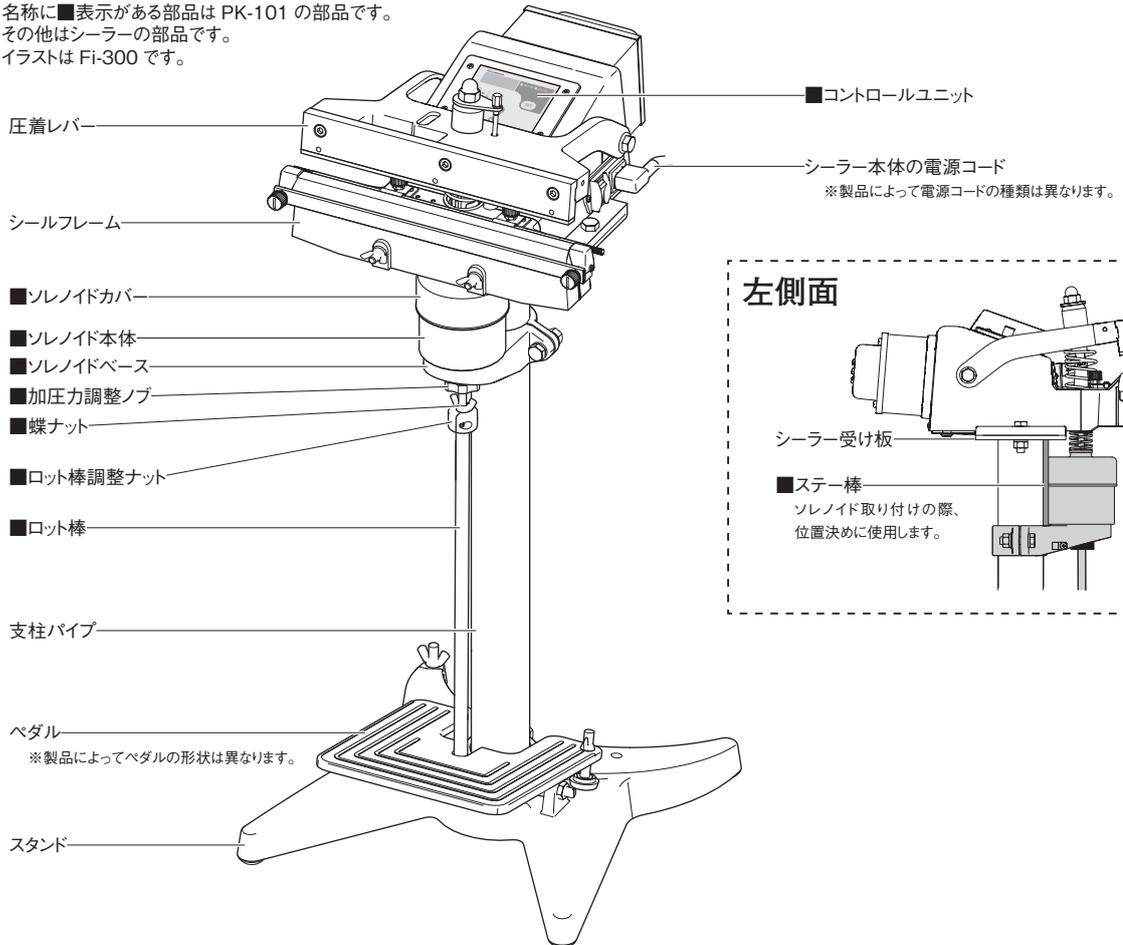
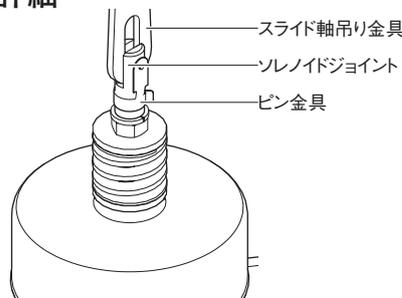


3 各部の名称とはたらき

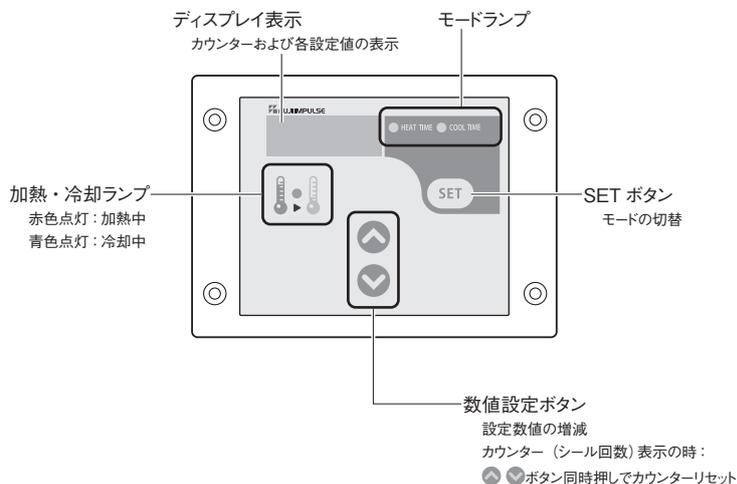
※名称に■表示がある部品は PK-101 の部品です。
 その他はシーラーの部品です。
 ※イラストは Fi-300 です。



ジョイント部分詳細

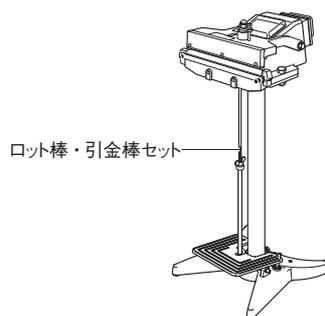


コントロールユニット操作部



4 組み立て方

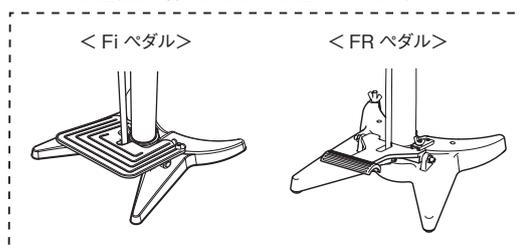
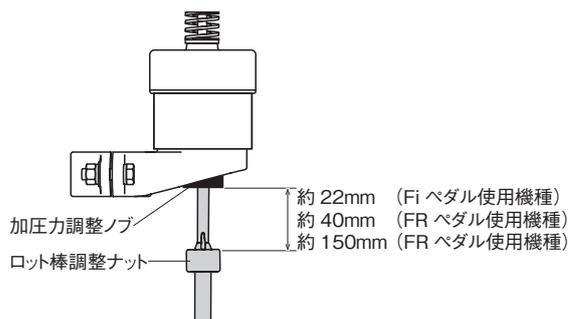
- 1 シーラーからロット棒・引金棒セットを取り外します。



- 2 ソレノイド本体のロット棒の長さを調整します。

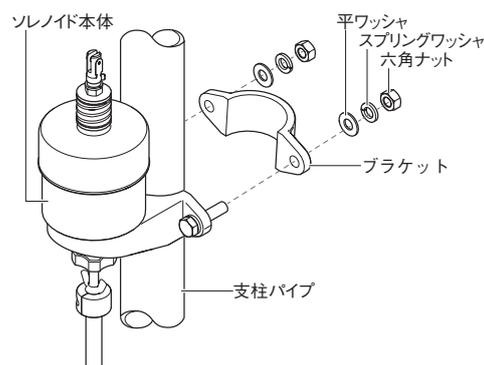
ロット棒の調整長さは使用しているペダルの形状によって異なりますので、使用する機種に応じた長さにロット棒調整ナットを回して調整してください。

- Fi ペダル使用機種 (Fi-200 シリーズ、300 シリーズ)
⇒ 調整長さ: 約 22mm に調整してください。
- FR ペダル使用機種
・Fi-200 シリーズ、Fi-300 シリーズ
⇒ 調整長さ: 約 40mm に調整してください。
・Fi-600 シリーズ、FR-450 シリーズ
⇒ 調整長さ: 約 150mm に調整してください。

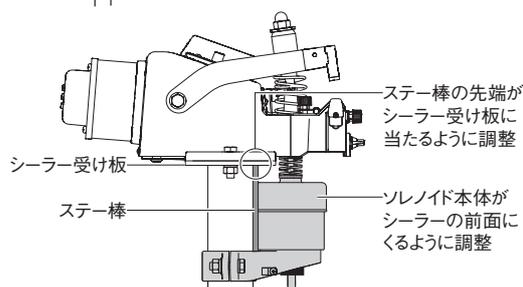


- 3 ソレノイド本体を支柱パイプに取り付けます。

- ①ソレノイド本体とブラケットで支柱パイプを挟み、平ワッシャ、スプリングワッシャ、六角ナットの順に取り付け、ソレノイド本体が落ちない程度に仮止めしてください。



- ②ソレノイド本体がシーラーの前面にくるように、また、ステー棒の先端がシーラー受け板に当たるように調整してください。



- 4 ソレノイド本体のソレノイドジョイントをシーラーのスライド軸吊り金具に取り付けます。

- ①ピン金具をソレノイドジョイントから外します。



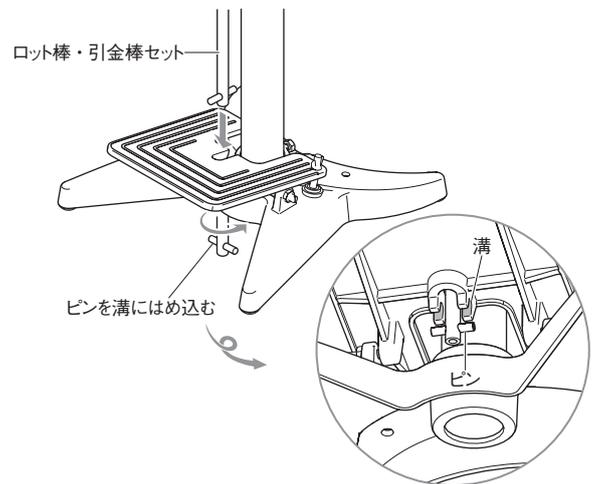
- ②スライド軸吊り金具をソレノイドジョイントに差し込みます。



- ③ピン金具をソレノイドジョイントの穴に通します。

- ④ピン金具を押さえて固定します。

- 5 ロット棒・引金棒セットの下部のピンをペダルの長穴部に取り付けます。
ピンはペダル裏側の溝にはめ込んでください。



- 6 次の3点について十分確認した上で、六角ナットを本締めして固定します。
次のことに注意してください。

- ①ステー棒の先端がシーラー受け板に接していることを確認してください。



注意 ステー棒の先端とシーラー受け板との間が離れているとソレノイドが正しく動作しない場合があります。

また、ステー棒は工場出荷時に125mmの高さに調整していますので変更しないでください。変更するとソレノイドが正しく動作しない場合があります。

- ②正面から見てロット棒・引金棒セットが垂直になっていることを確認してください。

- ③六角ナットはスプリングワッシャが潰れたところから1/2回転～1回転締めて固定してください。六角ナットは左右均等に少しずつ締めてください。



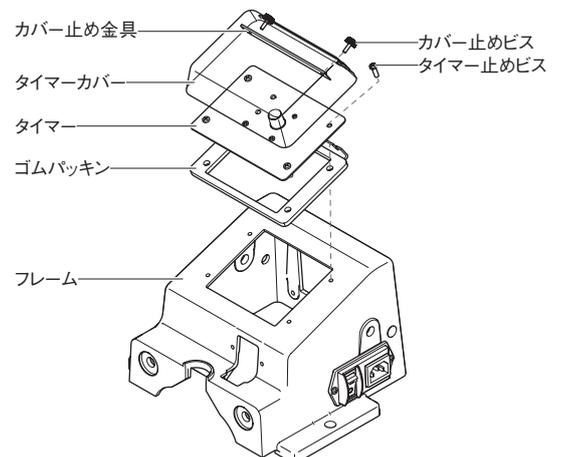
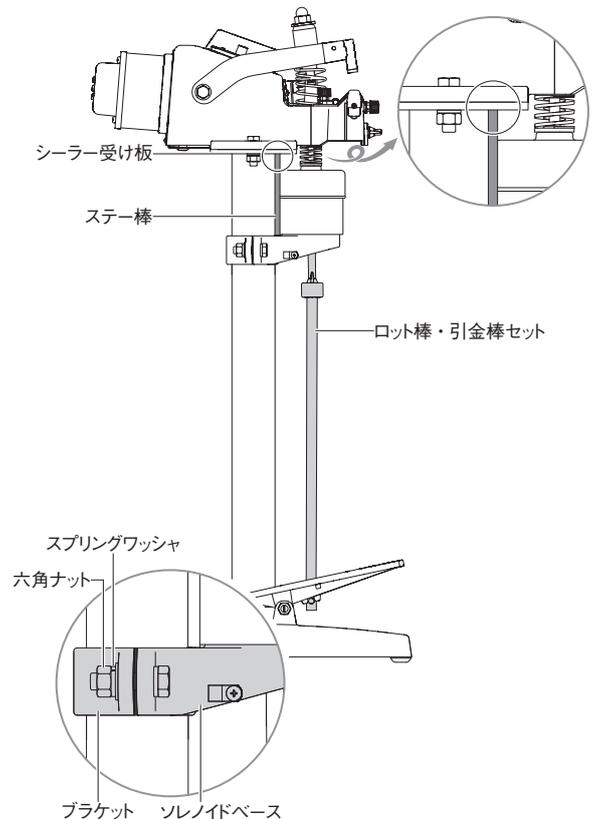
注意 六角ナットを強く締めすぎないでください。ブラケットが破損する場合があります。③の状態でもソレノイドベースとブラケットの間に隙間ができますが、密着させる必要はありません。



警告 以下の作業を行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

- 7 Fi タイマーを取り外します。
①カバー止めビス(2カ所)を緩めて、タイマーカバーを取り外します。機種によってはタイマーカバーが無いものもあります。

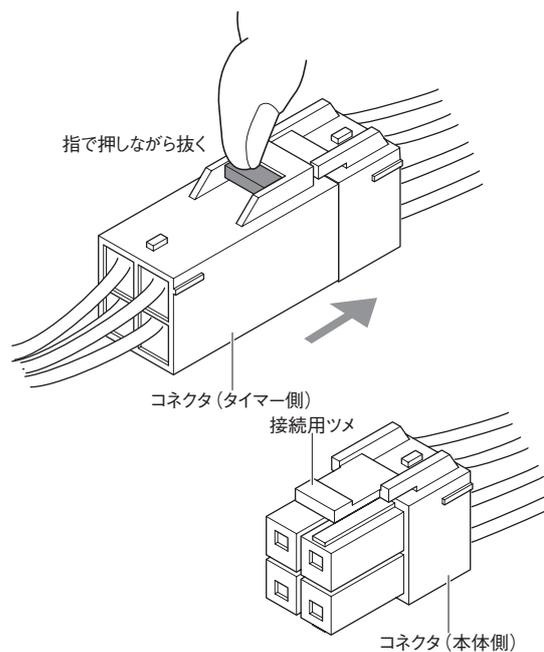
- ②タイマー止めビス(4カ所)を外して、タイマーをフレームから取り外します。



③コネクタ (2カ所) を外してください。

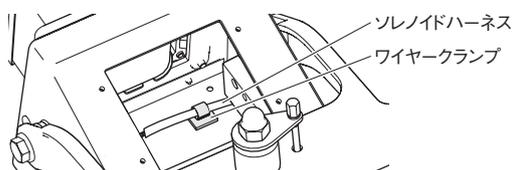
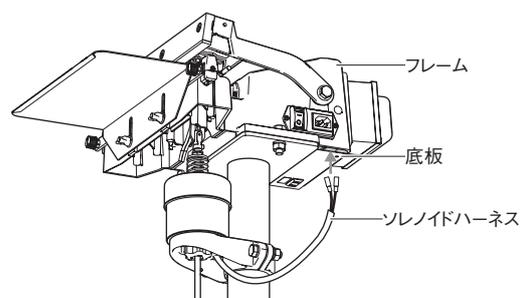
イラスト 2 のコネクタは、本体側のコネクタの接続用ツメの端をイラストのように指で押しなが
ら抜いて外してください。

他のコネクタは差し込み固定ですので、抜い
て外してください。

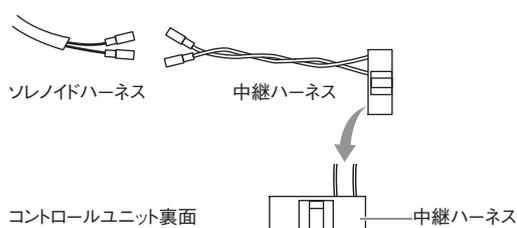


8 ソレノイドハーネスを配線します。

①ソレノイドハーネスの先端をフレームと底板との
隙間に通して、フレームの中で付属のワイヤ
ークランプを使って底板に固定してください。



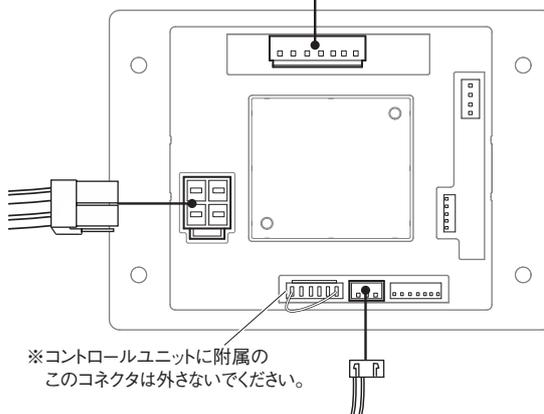
②ソレノイドハーネスの先端に附属の中継ハー
ネスを接続してください。



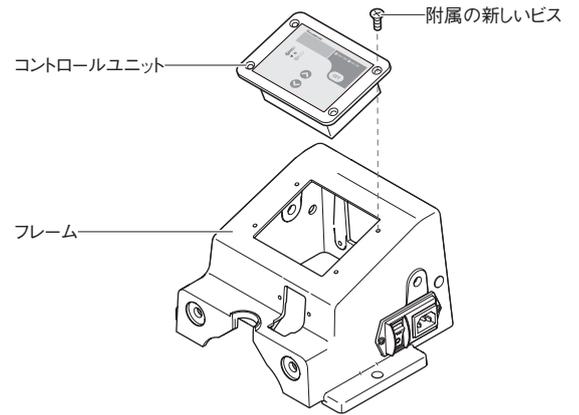
9 コントロールユニットを取り付けます。

① 3つのコネクタを接続します。

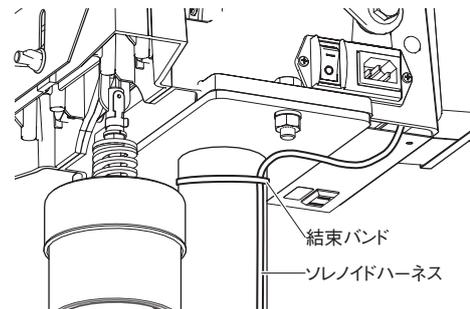
3つのコネクタは形状が異なります。形の合う
コネクタ同士を接続してください。



- ② 付属の新しいビスでコントロールユニットを取り付けてください。



- 10 ソレノイドハーネスを支柱パイプに結束バンド(2本)で固定します。

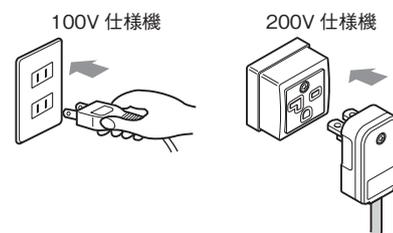


5 正しい使い方

「4 組み立て方」(→ P.6)を参照して、シーラーにPK-101を取り付けた後、以下の「正しい使い方」をよくお読みいただき、お使いください。以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

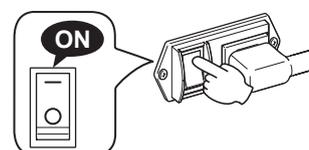
5-1 電源コードの接続

電源コードの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



5-2 電源スイッチ ON

電源スイッチを押して ON にするとコントロールユニットのディスプレイ表示の文字が点灯します。



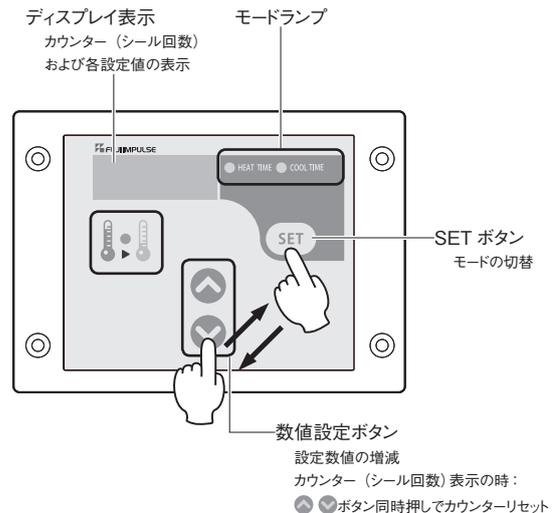
5-3 コントロールユニットで条件を設定

コントロールユニットで加熱時間・冷却時間を設定します。袋（フィルム）の材質、厚さなどにより設定値は変わりますので、異なる袋を使用される時はその都度設定してください。

「SET」ボタンを押すとカウンター（シール回数）→ HEAT TIME（加熱時間）→ COOL TIME（冷却時間）の順にディスプレイ表示に呼び出せます。

呼び出されたモードはランプが点灯します。

どのモードのランプも点灯していない時はカウンター（シール回数）が表示されている時です。



●加熱時間の設定

- ・ 「HEAT TIME」のモードにして、▲、▼ボタンで数値を加減して設定します。

[0.1 ~ 1.6 秒]

(Fi(K)-300-10WK/600-5W は最大 2.0 秒)

Fi(K)-600-10/600-10WK は最大 2.5 秒)

- ・ 使用されるときの電圧、袋（フィルム）の材質により適切な加熱時間は異なります。
- ・ シールができる最短の時間で設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

●冷却時間の設定

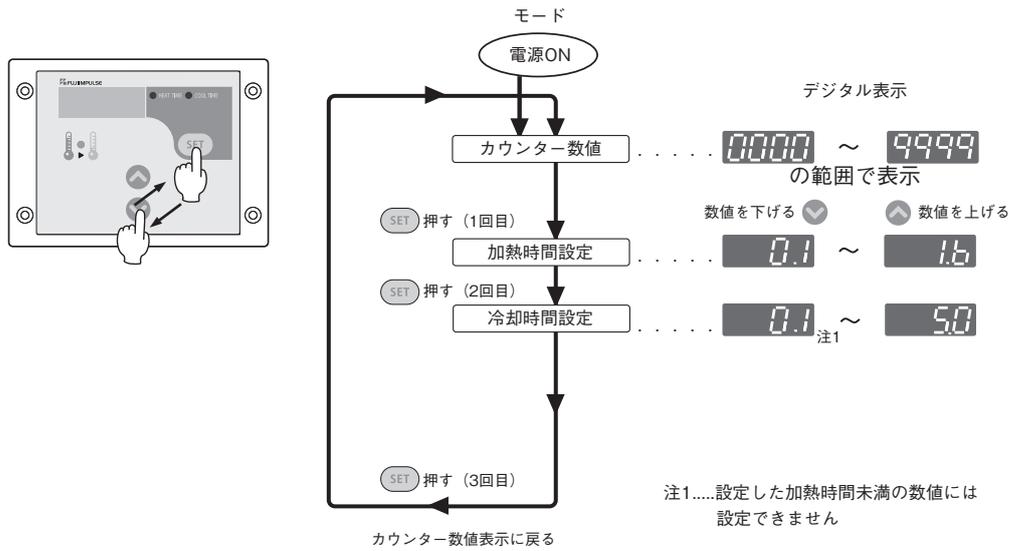
- ・ 「COOL TIME」のモードにして、▲、▼ボタンで数値を加減して設定します。

[加熱時間 ~ 5.0 秒]

(Fi(K)-300-10WK/600-5W/600-10/600-10WK は最大 9.9 秒)

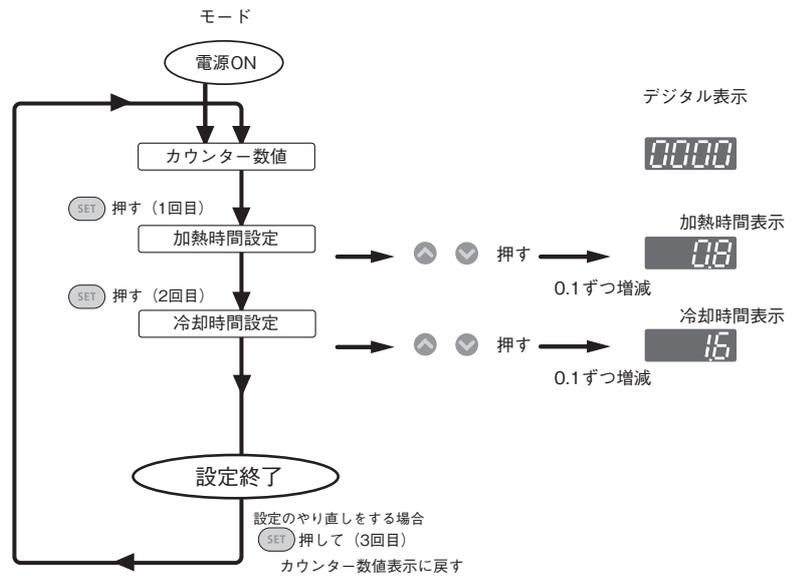
- ・ 冷却時間は加熱時間の 2 倍必要です。冷却時間を確保するために加熱時間の設定値より短い時間に冷却時間を設定できないようにしています。
- ・ 加熱時間を冷却時間より長く設定した場合、冷却時間は自動的に加熱時間と同じになります。

各モードの設定手順



各モードの設定手順例

設定数値例：【HEAT TIME（加熱時間）0.8秒】 【COOL TIME（冷却時間）1.6秒】



5-4 シールを行う

フィルム（袋）をシール部にセットし、カチッとマイクロスイッチの音がするまでペダルを踏み込みます。圧着レバーが閉じシール加熱が始まります。設定した冷却時間が終了後、圧着レバーが上に上がれば、シール完了です。